

1 教育行財政

1 教育行財政について

1-1 教育委員会 教育長・委員



教育長
戸ヶ崎 勤



教育長職務代理者
仙波 憲一



委員
吉田 辰行

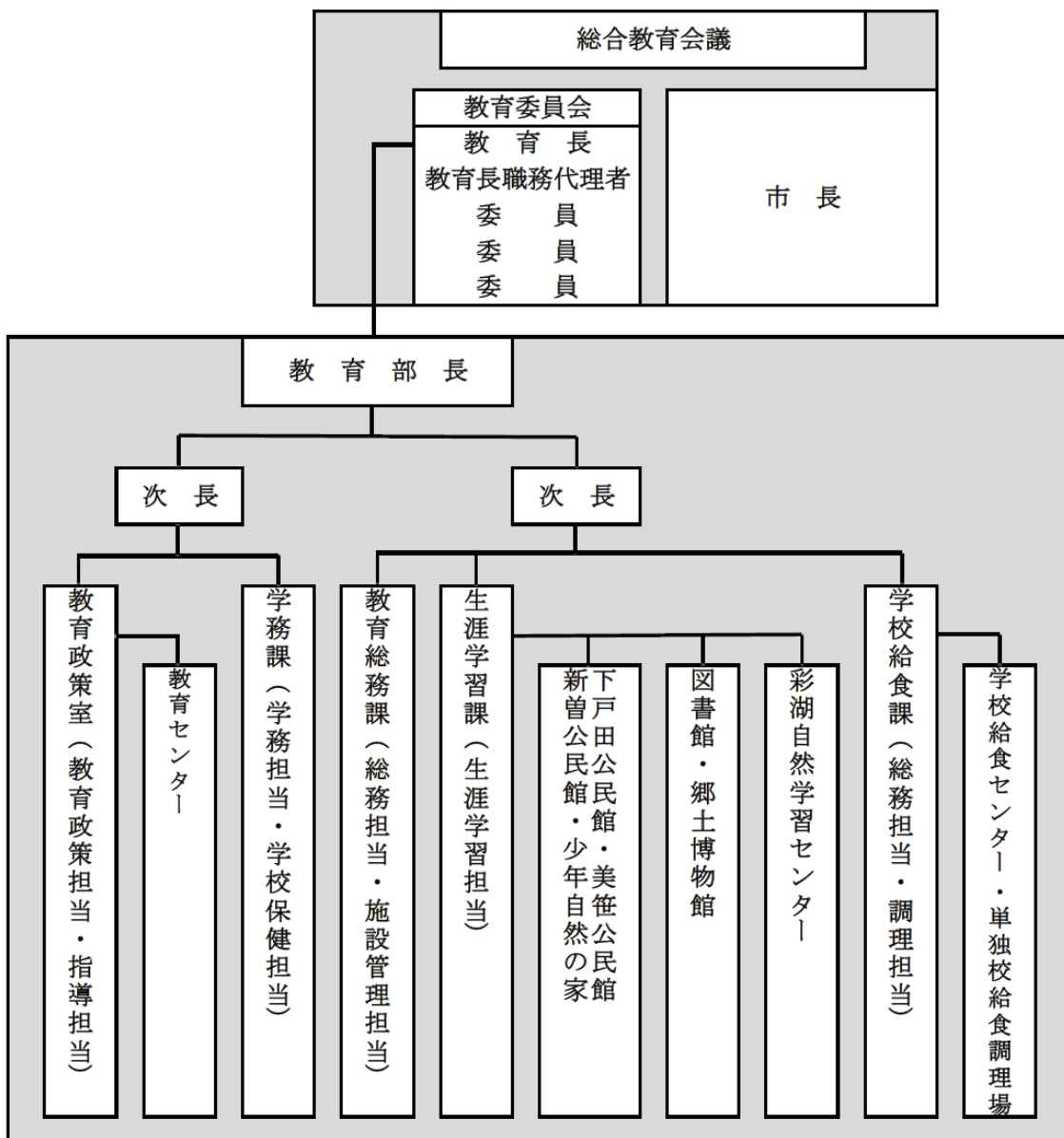


委員
鈴木 晃



委員
土肥 美奈子

1-2 教育委員会 行政組織図



1-3 教育委員会 事務分掌

所 管 課	主 な 事 務 分 掌
教 育 委 員 会 事 務 局	教育総務課 教育委員会会議、教育長の秘書、教育委員会事務局総括、入学準備金・奨学資金貸付、未来へはばたく人財育成資金給付、海外留学奨学資金給与、小・中学校施設の備品・消耗品購入、各種工事・修繕、業務委託、事務機器賃貸借等
	学務課 教職員等人事・サービス管理、児童生徒の就学・転出入事務、通学区域・通学路、就学援助費・特別支援教育就学奨励費事務、教科用図書無償事務、学齢簿の編製・保管、児童生徒・教職員の健康管理、学校保健会・学校保健管理、学校教育関係の調査・統計、日本スポーツ振興センター事務
	教育政策室 学校訪問、研究委嘱、生徒指導、進路指導・キャリア教育、校外行事への指導、副読本の編集・活用、各種研修会、情報教育、国際理解教育、教育相談、就学支援、特別支援教育、適応指導教室、発達支援、教育広報「とだ」の刊行、教育センター管理運営等、学校応援団、教育センター教科等研究グループ
	学校給食課 学校給食の計画、栄養管理、調理及び配送、給食センター運営委員会、単独調理校調理場管理運営、給食センター管理運営
	生涯学習課 生涯学習の推進、生涯学習関連講座・事業実施、社会教育・家庭教育講座、人権教育の推進、芦原小学校生涯学習施設管理運営、公民館事業、少年自然の家管理運営 [図書館]資料の貸出返却・閲覧、読書案内、調査研究支援、集会及び文化活動の企画開催、広報・視聴覚ライブラリー、資料の選択・収集・整理・修理等 [郷土博物館]資料の収集・保存・展示、調査研究、行政文書・地域文書・文献の収集・整理・管理、市史等の頒布及び管理、彩湖自然学習センター及びアーカイブス・センターの運営管理、文化財の保護
市 長 部 局	政策秘書室 総合教育会議に係る事務
	文化スポーツ課 社会体育の企画調整、体育施設設置・管理、体育施設使用許可及び使用料徴取、学校開放、体育関係団体、スポーツ教室、体育レクリエーションの普及奨励、スポーツセンターに係る事務、ボート競技の普及、芸術及び文化活動の振興に関すること等
	児童青少年課 青少年健全育成、青少年団体、青少年問題協議会、学童保育室、放課後子ども教室の推進、成人式、児童センターに係る事務
	保育幼稚園課 私立幼稚園関連補助金

1-4 教育振興に関する大綱・教育振興計画

戸田市の教育振興に関する大綱 ～戸田市の未来を創る「とだっ子」のために～

私は、まちづくりの基本は人づくりであり、一人一人のよさを最大限に引き出し、「生きる力」を育成し人格を磨いていくことこそが教育に課せられた最大の使命であると考えています。

これからの社会は激しく変化していくことが予測されています。グローバル化や情報化が一層加速し、人工知能（AI）やロボット開発などが進み、多くの仕事が自動化され、今ある仕事がなくなり、多くの子供たちは、現在まだない新たな職業に就くかもしれません。

そのような将来を見据えたとき、学校教育は、知識や技能の習得を重視した教育から、人工知能での代替は難しい、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力といった、いわゆる「21世紀型スキル」の育成へ転換していくことが急務であると考えています。

一方で、社会がどんなに変化しようとも、基礎的な知識や技能を確実に身に付けること、他人を思いやる心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力など、知・徳・体をバランスよく育てることは、いつの世にも変わらない重要なことだと思っております。

さらに、最近の教育界では、「IQや学力の高さだけが人生の成功をもたらすわけではない。」との考えが注目されています。数値では測れない、粘り強さ、協調性、やり抜く力、自制心などの「非認知スキル」と呼ばれる能力が大切であるとの指摘です。この非認知スキルは、人生のあらゆる段階で不可欠な役割を果たします。とだっ子には、21世紀を生き抜くために、是非このような能力を身に付けてもらいたいと思っています。

昔から、「子供は家庭のしつけで芽を出し、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実がなる」と言われています。戸田市の将来を担う子供たちの成長には、家庭・学校・地域社会の三者が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが不可欠です。

そこで、三者それぞれに、私なりに特に次のことをお願いしたいと思います。

家庭では

教育基本法第10条では、父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであると規定されています。父母は「習慣の教師である」とも言われ、人間の芯になる部分は家庭教育でつくられます。あいさつ、返事、手伝い、整理整頓などの基本的な生活習慣は、特にしっかりとしつけてください。

学校では

子供は先生を選べません。書経に「教うるは学ぶの半ばなり」とあります。校長先生や教頭先生には、確かな学力の育成と生徒指導の充実を柱とし、「この学校なら是非自分の子を入れたい」というような地域に誇れる学校経営や運営を、また、先生方には、信頼される魅力ある教師を目指し、「自分の子は自分のような教師に教えてもらいたい」と思える、自信と誇りをもった教育実践をお願いします。

地域社会では

地域社会は大きな家族です。子供は地域社会の中で実践を通して生きる力を身に付け、社会人としての人格を形成していきます。モラルや規範意識などの醸成に近道はありません。

地域の子育て力を育むためにも、積極的なあいさつや声かけとともに、親身に叱る勇気と愛情をもっていただくようお願いします。

すべての子供たちは、未来からの使者であると言われます。教育による「人づくり」こそが、持続的に発展する戸田市を創ることであり、教育は未来への投資です。戸田市で学んで本当によかった、今後も戸田市で学び続けたいと言っていたくために、戸田市の教育振興の根本的な方針として、ここに「戸田市の教育振興に関する大綱」を定めます。

平成30年5月 戸田市長 菅原文仁

■戸田市は、21世紀を生き抜くとだっ子の、やり抜く力を育成します

目標1 やり抜く力を育む教育を推進します～確かな学力の育成と生徒指導の充実～

1 確かな学力の育成を推進します

全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査の結果を分析活用して、基礎的・基本的な知識や技能等を確実に習得し、「楽しく、わかり、伸ばす授業」に向けた、効果的な授業への改善を図ります。また、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を図るため、放課後等を活用した学習支援や、様々な理由から就学の継続が困難な状況にある児童生徒に対する支援や援助等を図ります。

2 生徒指導の充実と豊かな心を育成します

「戸田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題の未然防止、早期発見・早期解決等を図ります。また、「戸田市生徒指導アクションプラン」に基づき、生徒指導の充実と児童生徒及び保護者に対する相談・支援活動の充実のために、蕨警察署をはじめとした関係機関との連携や全庁あげての組織的な取組を図ります。また、読書活動や自然体験、芸術作品等の鑑賞、交流活動など、情操を豊かにする教育を充実します。さらに、道德教育の充実やボランティア活動、社会体験活動を通じて、道徳的实践力や豊かな人間性・社会性を育成します。

3 健やかな体を育成します

運動の楽しさや魅力を味わい、進んで運動する児童生徒を育てるために、学校体育の充実とともに、元オリンピック選手や大学生などを招聘した運動教室などを実施してまいります。また、家庭や地域と連携しながら、学校保健や食育の充実、体力向上に向けた取組を進めるとともに、地域の人材と連携した部活動の充実を図ります。

4 国際社会で活躍できる人材を育成します

引き続きALTの全校配置やICT教育の一層の充実などを通して、これまで本市の教育の特色の一つであった、小学校の英語活動及び中学校の英語教育のさらなる充実を図り、国際社会で活かせる英語力やコミュニケーション能力、また、プレゼンテーション能力などを育成します。

目標2 よりよい教育環境を整備します～産官学民等との連携による知のリソースの活用～

5 新しい学びを創造します

協調学習をはじめとしたアクティブ・ラーニングなど主体的・能動的な学びを推進し、21世紀型スキルの育成を目指します。また、デジタル教科書や学習支援システムなど、デジタル教材を積極的に活用した、楽しくわかる授業や補充的な学習の充実を図ります。

さらに、国の研究機関や民間の教育力などを積極的に活用し、キャリア教育などを含めた新しい学びを創造します。

6 教員の指導力の向上を図ります

産官学民と連携し、教員の指導力の向上のための研修や専門的指導等の一層の充実を図ります。また、ICT等を活用した効果的・効率的な校務システムの改善や、「チーム学校」の視点からの組織力等の向上を図り、子供と触れ合う時間を確保します。

7 学校の施設や設備の充実を図ります

安全で安心な教育環境の確保や児童生徒数の増加対策に向け、学校の施設や設備の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策や増改築等の実施を進めます。また、最先端のICT環境の整備充実を図ります。

8 特別支援教育の充実を図ります

児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導や支援を図ります。また、インクルーシブ教育システムの構築を念頭に置いた取組を進めるとともに、相談・支援体制の強化に向けて、関係部署・関係機関の一層の連携強化を図ります。

9 家庭・地域の教育力向上を図ります

幼稚園や保育園などで就学前教育・保育への支援を行うとともに、幼少期から学びに興味を持てる取組の推進を図ります。また、適切な生活習慣の確立に資する講座の開催や、家庭での教育に関する情報提供・相談支援の充実を図るとともに、保護者同士の交流や学びの機会の充実を図ります。

10 家庭・学校・地域の連携を図ります

子供会やPTA活動等、教育関連組織・団体活動への支援を行うとともに、学童保育の充実や市内福祉センターなどの公共施設等を有効活用した安全な「青少年の居場所」づくりの充実を図ります。

また、地域全体での見守りや相談支援など、青少年の健全育成を行うとともに、豊かな地域の人材や自然等を活かした、戸田市らしい教育の推進を図ります。

11 生涯学習・生涯スポーツ等の振興を図ります

戸田市の多様な生涯学習関連施設を活用した学習の推進を図るとともに、生涯学習団体への支援を図ります。また、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめる取組を充実するために、スポーツ指導者の育成や生涯スポーツ団体への支援を図ります。さらに、戸田市の文化芸術活動の振興や伝統文化の継承を図ります。

第3次戸田市教育振興計画

近年、あらゆる分野においてグローバル化や情報化の進展などにより、世界全体が急速に変化する中、我が国では、今後も出生率の大きな改善が見込まれず、高齢化の一層の進行・人口の減少が見込まれます。また、地域のつながりの希薄化や社会規範の低下、学力・体力の二極化、いじめ、不登校など、依然多岐にわたる事項が教育課題として指摘されています。

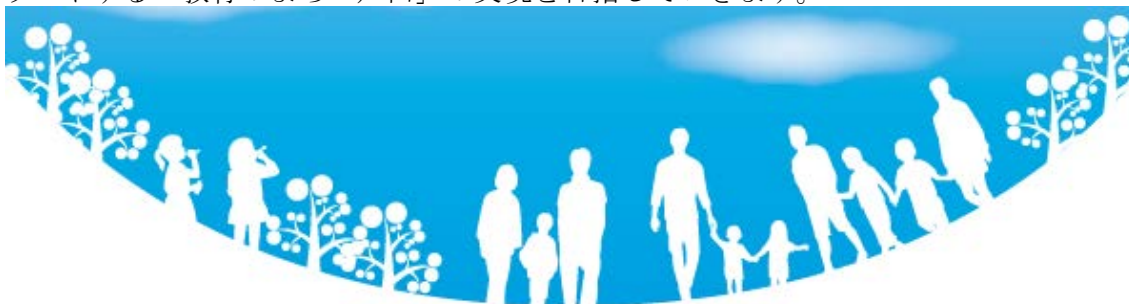
他方、平成23年3月に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を契機に、命を守るための取組が加速するとともに、人と人とのつながりの重要性が再認識されるなど、人々の意識に大きな変化をもたらし、教育分野においても、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす取組の推進が求められています。

そのようなめまぐるしく変化する社会・経済情勢や、教育を取り巻く状況の変化等を踏まえ、家庭、学校、地域、行政が自主的かつ積極的な活動を行うため、本市では、平成28年度から平成32年度の5年間を計画期間とした「第3次戸田市教育振興計画」を策定しました。

この第3次戸田市教育振興計画では、戸田市第4次総合振興計画や第3次戸田市生涯学習推進計画などの関連計画と連携し、「やり抜く力を育む教育」と「よりよい教育環境の整備」を基本目標として教育施策を実施し、「希望を持ち、思いやり、未来を拓くため、最後までやり抜く児童生徒」を育てます。

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代と言われています。未来からの使者であるとだっ子が、これからの時代をたくましく生き抜く力を身に付け、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくためには、家庭、学校、地域、行政がそれぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携することが不可欠です。

この第3次戸田市教育振興計画の下、家庭、学校、地域、行政が一体となり、「戸田市で学んでよかった」、「戸田市で今後も学び続けたい」と言ってもらえる他自治体をリードする「教育のまち 戸田」の実現を目指していきます。



※具体的な事業については、市ホームページを御覧ください。

戸田市 教育振興計画

検索



■第3次戸田市教育振興計画の基本理念・キャッチフレーズ・基本目標

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田
～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

1 やり抜く力を育む教育を推進する

～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

基礎的・基本的な知識・技能の定着と、習得した知識・技能を十分に活用できる確かな学力や、問題に直面した際に解決するために思考を働かせ、行動していく力を育成します。

また、健全な生活習慣を身に付け、思いやりの心と規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子供を育てる教育を推進します。

そして、一人一人の様々な違いについて理解し、互いを尊重し支え合う共生の心や、自ら考え、行動する、国際社会や地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

2 よりよい教育環境を整備する

～産官学民及び家庭・地域と連携し、知のリソースの活用を図る～

文部科学省や県教育委員会、民間企業や大学など、産官学民との連携を図り、楽しくわかり、学び合い、理解が深まる授業づくりなどの教員の指導力向上、相談への対応力向上をはじめとした教職員の資質向上や、教職員が子供と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりを推進します。

また、各学校の環境や特色を活かした安心・安全な学校づくりと、ICT環境の整備充実をはじめとした効果的な学びを支援する施設・設備の充実を目指します。そして、開かれた学校づくりや施設開放、学びの機会の確保を通じて、誰もが安心して快適に学べる、よりよい学習環境・教育環境の整備を目指します。

■目指す児童生徒「とだっ子」像



1-5 歳出予算内訳

(1) 平成30年度 教育費の歳出予算内訳（当初）

科 目	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年度比率
1 教育総務費	1,256,234 ^(千円)	1,184,949 ^(千円)	71,285 ^(千円)	6.0%
教育委員会費	4,387	3,786	601	15.9%
事務局費	558,428	506,803	51,625	10.2%
教育指導費	125,609	121,676	3,933	3.2%
保健費	29,624	29,931	-307	-1.0%
教育センター費	161,274	150,575	10,699	7.1%
幼稚園費	376,912	372,178	4,734	1.3%
2 小学校費	946,774	986,736	-39,962	-4.0%
学校管理費	766,847	716,222	50,625	7.1%
学校建設費	179,927	270,514	-90,587	-33.5%
3 中学校費	455,031	579,804	-124,773	-21.5%
学校管理費	307,002	358,920	-51,918	-14.5%
学校建設費	148,029	220,884	-72,855	-33.0%
4 社会教育費	654,891	657,384	-2,493	-0.4%
社会教育総務費	67,729	68,230	-501	-0.7%
公民館費	34,478	43,788	-9,310	-21.3%
青少年育成費	33,340	31,759	1,581	5.0%
文化財保護費	8,718	10,241	-1,523	-14.9%
少年自然の家費	46,261	46,487	-226	-0.5%
図書館費	386,322	366,116	20,206	5.5%
郷土博物館費	50,179	62,136	-11,957	-19.2%
彩湖自然学習センター費	27,864	28,627	-763	-2.7%
5 体育費	587,279	352,426	234,853	66.6%
体育総務費	116,340	107,905	8,435	7.8%
体育施設費	730	730	0	0.0%
学校施設開放事業費	5,482	5,827	-345	-5.9%
スポーツセンター費	464,727	237,964	226,763	95.3%
6 学校給食費	1,292,595	1,263,748	28,847	2.3%
学校給食センター費	711,867	690,469	21,398	3.1%
単独校給食費	580,728	573,279	7,449	1.3%
7 教育諸費	74,415	29,547	44,868	151.9%
教育振興費	66,512	28,948	37,564	129.8%
人財育成奨学資金給付金	7,903	599	7,304	1219.4%
教育費計	5,267,219	5,054,594	212,625	4.2%

(2) 平成30年度 1人あたりの教育費（当初）

区 分	人 数 (人)	予 算 額 (円)	1人あたりの額 (円)
教育総務費（市民1人に対して）	138,148	1,184,949,000	8,577
小学校費（児童1人に対して）	8,003	986,736,000	123,296
需用費		227,077,000	28,374
備品購入費		44,731,000	5,589
中学校費（生徒1人に対して）	3,299	579,804,000	175,751
需用費		104,264,000	31,605
備品購入費		20,445,000	6,197
社会教育費（市民1人に対して）	138,148	657,384,000	4,759
体育費（市民1人に対して）	138,148	352,426,000	2,551

(3) 平成30年度 市全体の予算から見る教育費の割合（当初）

